

9. モニターへのアンケート調査

- ・モニター参加者には、毎日記憶が新しいうちにアンケート調査を実施した。
- ・2泊3日のモニターツアーで1日目・2日目・3日目・総合アンケートの4本構成。
- ・Google Formを使い、スマートフォンで回答できるよう便宜を図った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令もあり、モニター人数は6名に留まったが、n数が少ない中でも共通項やフリー回答を読み解くことで、今後の運用に有意義な示唆を得ることができた。

4 セクション中 1 個目のセクション

Miura-Boso BIKE&HIKE Adventure SURVEY①

フォームの説明

Please enter your name

記述式テキスト (最大回答)

セクション 1 以降 次のセクションに進む

4 セクション中 2 個目のセクション

Mt.Takatori Trekking

説明 (省略可)

Were you satisfied? *

1 2 3 4 5

Dissatisfied Satisfied

Would you like to visit again? *

1 2 3 4 5

Never Absolutely

Do you want to introduce this place to your friends / acquaintances? *

1 2 3 4 5

Never Absolutely

What do you think was attractive for inbound travelers? *

記述式テキスト (最大回答)

What should be improved from the perspective of inbound travelers (foreign tourists)? *

記述式テキスト (最大回答)

Please let us know if you have any other comments.

記述式テキスト (最大回答)

セクション 2 以降 次のセクションに進む

4 セクション中 3 個目のセクション

Mt.Ohgusu Hill Climb

説明 (省略可)

Were you satisfied? *

1 2 3 4 5

Dissatisfied Satisfied

What should be improved from the perspective of inbound travelers (foreign tourists)?

6 件の回答

Planning more stops with some explanations. It's doesn't need to be a long time. Just the time to taking pictures. Like the cute part next to the hotel, the antique shop, cute house, (the small place just in from the pudding shop as well) for example

Riding besides the cars and truck is too dangerous. Some part of the mountain trail was dangerous (small rocks, mud) and pretty thought but overwholy the electric bike did the job. It would be better to shorten the tour and offer more breaks.

- More time spent at stopped location to relax and engage in light conversation with the tour guide and/or locals
- Traditional Japanese Deserts included with the meals
- Slower bike cycling pace
- More even balance between cycling and hiking
- Night time cultural social activity included
- Cycling pace could be a little slower
- Bike could be better adjusted for taller riders
- Maybe a little more time relax at the stops

Please let us know if you have any other comments.

6 件の回答

Including some stop will give the impression to not ride a long time.

Maybe we could split the bicycle riding by using the car to move to a nearby city and resume riding around must sees.

- Its a very good tour and I certainly enjoy it immensely I'd recommend it
- The bike riding pace should be slower as many tourists will not have that level of energy
- The balance between riding /hiking could be a bit more even
- Maybe tourist would like more time to relax at the stopped locations just to talk with the guide more and maybe locals more
- Maybe also include some type of short and simple cultural activity that tourist can experience
- Many tourists and quite tall so the bike seats would have to be raised much for comfortable riding
- The bike is very good but could be too small for bigger people
- Probably better to ward tourist in advance regarding the level of steps (knee bending activity) during hikes as most are used to flat bikes. Also, many western tourists have knee problems compared to Japanese
- It was a wonderful ride that created excitement and expectation about what lies ahead for the rest of tour. Wonderful selection of stops. The Bikes need a little improvement for taller or bigger people.

Visiting spots

Which locations did you like when stopping by? (Please select all appreciable answer).

6 件の回答

Location	Count	Percentage
Jinnu temple	6	100%
Matsu Buddha of Mt. Iatou	5	83.3%
MARUJOE Padma	4	66.7%
Tateishi Park	4	66.7%
Jinnu Temple	6	100%
Shoku-Yado (Lunch)	6	100%
Daikoku Ranch (Ice cream)	4	66.7%
Hanayama Bakery	5	83.3%
Utsunoyama Park	5	83.3%

What do you think was attractive for inbound travelers?

6 件の回答

The meeting with the monk.

Above checked items (especially buddha experience)

- The variety of places with different cultural aspects
- The nature and countryside surrounding the locations visited
- The quality and variety of food available
- The hospitality and services of locals
- The opportunity to experience breathtaking views
- The closeness to the sea during the tour
- The friendliness and hospitality of the tour guides
- Opportunity to interactive with locals
- The nature and countryside surrounding the locations visited
- The variety of sites
- Culture and history connected to sites
- The opportunity to experience breathtaking views
- The quality of food sampled
- Chance to relax and chat with the guide

What should be improved from the perspective of inbound travelers (foreign tourists)?

6 件の回答

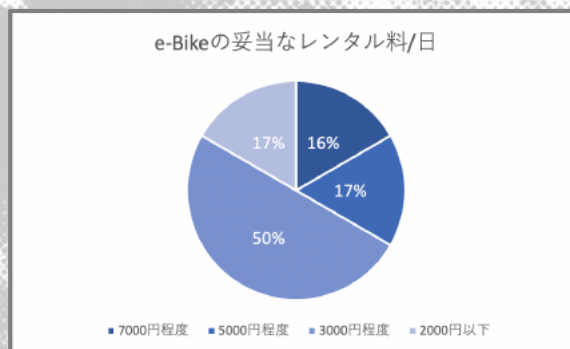
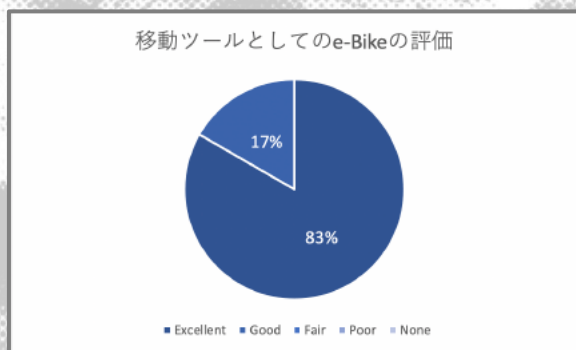
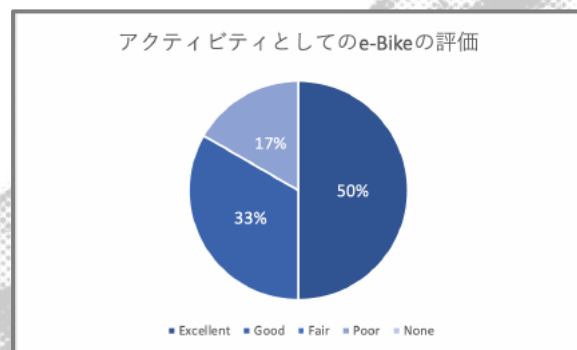
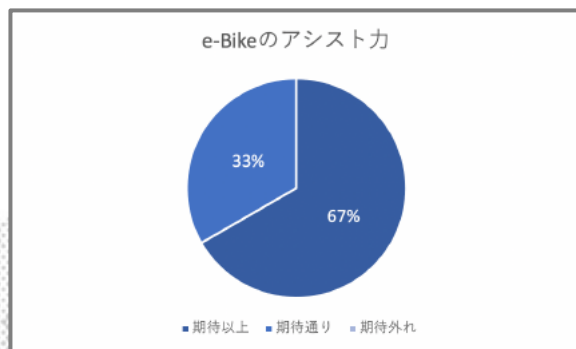
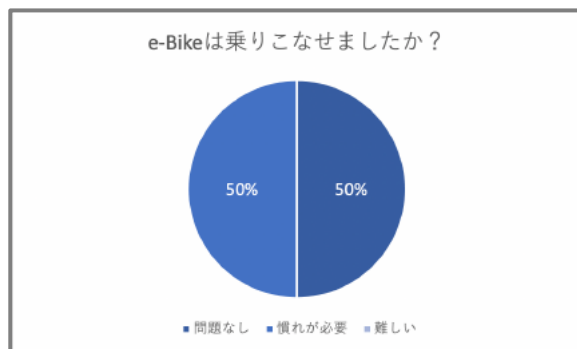
As I said previously, including more spots, with more contents

Offer more cultural experience alike.

- A location stop that includes involvement in a short and simple cultural activity
- A location stop that shows something actually being made (i.e food)
- A picnic style stop location
- More time relaxing at the sites

10. モニターアンケート分析①：e-Bike

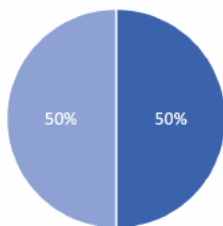
- e-Bikeについては初めて、もしくは1-2回乗ったことがある参加者がほとんどであったが、扱いの難易度としては、半数が「問題なし」、半数が「慣れが必要」であった。ツアースタート時に簡単なレクチャーは行なったが、ギアの選び方やペダルの負荷について特有のコツがあるため、いきなり公道に出るよりも私有地で慣らし運転をした方が良いと考えられる。
- e-Bikeのアシスト力については、7割が「期待以上」、3割が「期待通り」であった。一般的な電動アシスト自転車とは一線を画すアシスト力は多くの参加者にとってポジティブサプライズであり、アクティビティとしての魅力を秘めていることがうかがえる。
- アシスト力の評価がアクティビティの評価に直結しており、5段階評価で4以上が8割以上であった。低い評価をつけているのはサイクリストで、自分の力で漕ぎたいというもの。ただし高い評価をつけているサイクリストもあり、アシストのレベルは変更可能であるため、志向に合わせた案内で解決できそうである。移動ツールとしての評価はほぼ最高値であった。
- e-Bikeの妥当なレンタル料は1日3000円程度の意見を中心に、上下に振れる結果となった。レンタカー・カーシェアがガソリン代込みで1日7000-8000円程度であることを考えると妥当とも言えるが、3000円だと損益分岐の利用が約100回となるため、体験価値をデザインすることで5000円程度の価格設定でチャレンジしたい（損益分岐の利用が約60回）。



10. モニターアンケート分析②：ガイディング

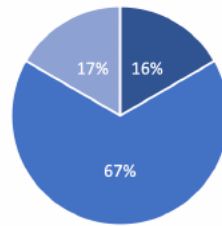
- 今回のモニターツアーでは、サイクリストのガイドが同行し、前掲した携帯用の紙地図とYAMAPアプリを併用する形をとった。
- 各見どころにおけるガイドの解説については意見が分かれた。台湾人や欧米のサイクリストにとっては適度な解説量であったが、フランス人の一般観光客目線ではもっと詳しい解説が必要とされている。台湾人は30歳前後という若さも影響していると考えられる。30代後半以上の欧米の観光客をターゲットとする場合は、より詳細なガイド情報を用意する必要があるだろう。
- 紙の地図については5段階評価で3が中心の結果となり、想定より低かった。旅の全体像を把握できることが紙地図の良さであり、実際に高評価者のポイントはそこであったが、デジタルデバイスが浸透している現代では付加価値が薄れているか。三浦折りを採用して大判な地図をできるだけコンパクトに収めたが、それでも地図が大きすぎるという意見も見られたため、エリア別に小さなサイズに分けることも検討したい。
- YAMAPアプリについては5段階評価で5と4が半々であり、総じて高い評価となった。アプリのダウンロードをはじめ使いこなすには一定のリテラシーと人員サポートが必要になるが、想定していたよりも抵抗感はなかった。e-Bikeにスマートフォンを固定することでカーナビのように現在地やルートを確認することができ、充電もe-Bikeから行えるため、親和性が高いことも高評価の一因であろう。
- YAMAPのような地図アプリに観光スポットの解説情報を充実させ、アプリだけで旅をする「セルフガイド」のコンセプトについても、7割のモニターが肯定的であった。自分のペースで自由に進むことができるため、体力を要するサイクルツーリズムやトレッキングツーリズムにおいては特に相性が良いと考えられる。
- 一方で上述したように、年齢層や国籍によってはガイドによる掘り下げた情報提供を付加価値として求める傾向にあるため、アプリの地図にどこまでの情報を掲載できるかがポイントになりそう。地域の観光事業者目線の情報や、地元住民の口コミなどを充実させることができれば、アプリの提供に絞ってトータルコストを下げることも可能と考えられる。

ガイドによる解説について



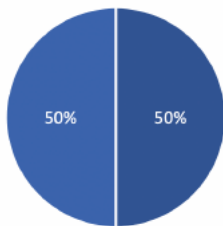
■ 適度な解説だった ■ もっとスポットの情報について解説して欲しかった

紙の地図について評価



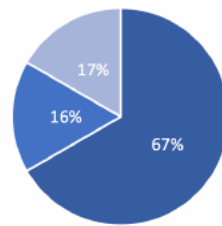
■ Excellent ■ Good ■ Fair ■ Poor ■ None

YAMAPアプリについて評価



■ Excellent ■ Good ■ Fair ■ Poor ■ None

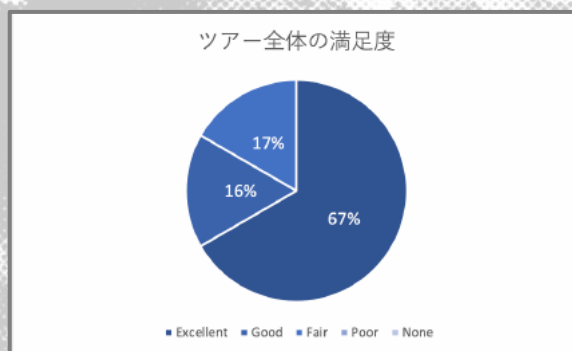
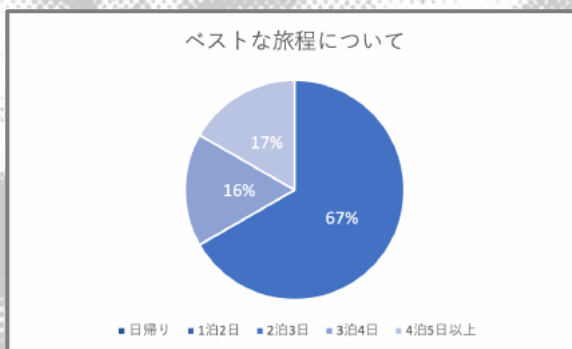
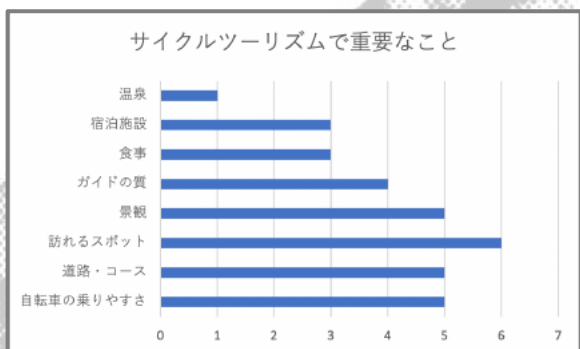
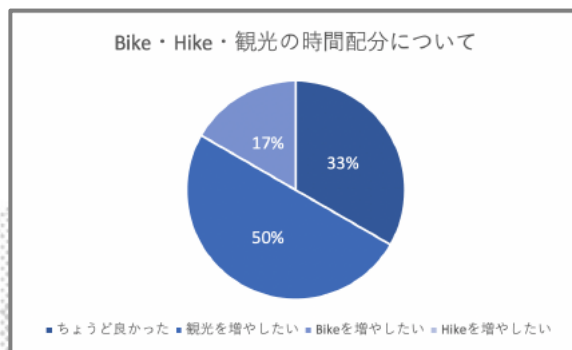
アプリでのセルフガイドについて



■ セルフガイドで楽しめる ■ 慣れが必要 ■ ツアーガイドがほしい

10. モニターアンケート分析③：ツアー全体

- 今回のモニターツアーのコンセプトである「Bike & Hike」については、参加者全員がサイクリングとハイキングを組み合わせることで魅力が高まると答えている。海と山と街が近いという三浦半島・房総半島の魅力を引き出すコンセプトとして、外国人目線でも高い評価を得られることが示された。
- 一方で課題として、観光の時間を増やしたいという意見が目立った。魅力的なトレッキングとサイクリングのコースがたくさんあることは理解できるが、それらを網羅する必要はなく、海辺の自然の風景や格式ある寺院の仏像など、地域の文化的な魅力をゆっくり楽しむ時間が必要。
- サイクルツーリズムに重要なポイントとしても、訪れるスポットが最重視されていたことから、スポットの魅力を掘り下げるニーズは確実にある。また「道路・コース」については、特に安全性がポイントとなる。三浦半島の北部を周遊する1日目は、交通量が多く道幅も狭いエリアのため、リスクを感じる参加者が少なかった。三浦半島南部と房総半島のコースは安全性が高く、田園風景が広がるのどかな景色を走るコースがメインのため、サイクリングの評価が非常に高い結果となっている。
- 妥当な旅程についてはモニター通りの2泊3日を中心に、サイクリストは長期を希望している。体力が低い女性参加者でも2泊未満を希望していないことから、「滞在期間を伸ばす」という本コンセプトの狙いのひとつは達成されていると言えよう。
- ツアー全体の満足度は5段階評価で4以上が8割を超えており、手応えのある結果となった。



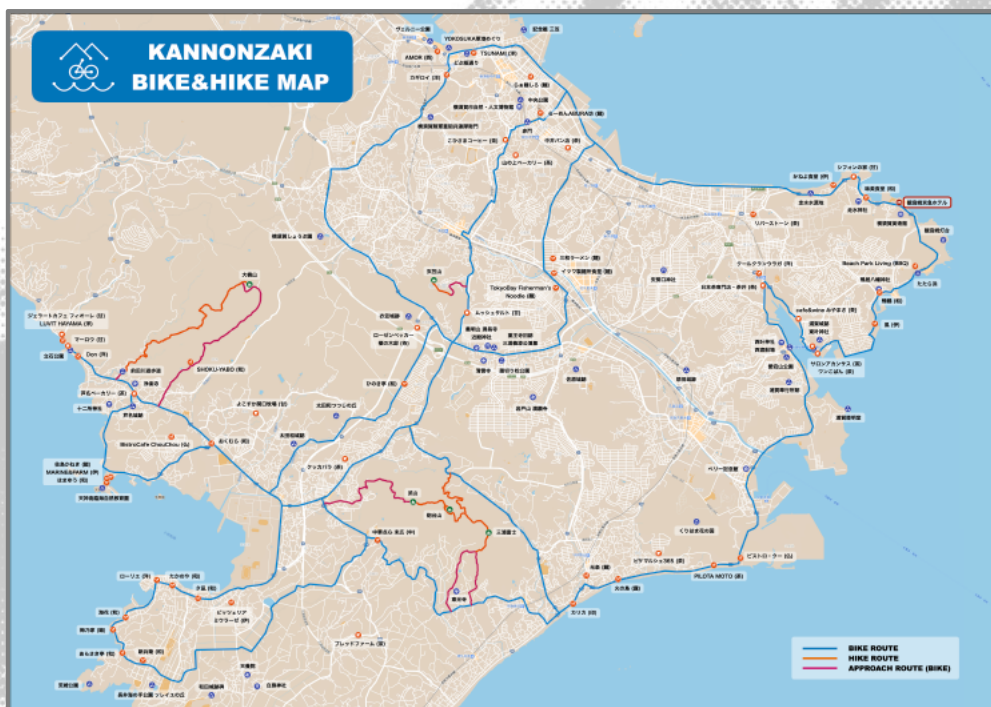
10. モニターアンケート分析④：個別の論点

- サイクリングルートは、海沿いだけでなく田園風景が広がる道の評価が高い（三浦・房総ともに）。特に城ヶ島から久里浜港までのルートが好評だった。
- 宿は1泊目の観音崎京急ホテル、2泊目のファミリーオ館山ともにハイクラスなホテルではないが、参加者の満足度は非常に高かった。アクティブな旅がコンセプトなので、宿はほどほどのバランスにしてアクティビティに予算をかける方が満足度が高まる可能性。
- 東京湾フェリーの評価が非常に高い。ロングライドの後の良い休憩になること、飛行機で空から眺めることが多い東京湾を船で渡ることの面白さ。国籍によってはフェリーの体験自体が珍しい可能性も。
- トレッキングの中では伊予ヶ岳の評価が高い。長いロープ場に独特のアドベンチャー感があることと、麓からの大山千枚田の棚田と・カフェごんべいへのトリップが外国人目線で付加価値が高い。
- 鋸山も文化的な観点で評価が高かったので、ロープウェイではなくトレッキングでゆっくり回るプランも検討したい。鷹取山の磨崖仏を訪れなかったことを残念がる意見もあり、巨大な仏像系のモニュメントにはインバウンドニーズが強いことを再認識した。
- 台湾人がグルメスポットに関心が高いのに対して、フランス人は伝統文化や地域の暮らしを体験する機会を求めており、食に関しては重視していない。国民性の違いに対応できるバリエーションを検討。
- ただし、食の中でもShoku-Yaboや山の上ベーカリー、三崎マグロや琵琶ソフト、棚田カフェなどは欧米人の受けもよく、独自の文化が感じられるかどうかのポイントのようである。
- ホームステイのように暮らしを体験できるプランは、雨天時のバックアップメニューとしても良い。
- サイクルツーリズムは（アドベンチャーツーリズムだけでなく）サスティナブルツーリズムにも通じるもので、外国人や海外エージェンにとって旅先を選ぶ重要な理由になる。自治体は三浦と房総の道にもっと投資をするべき（サイクリングロード）。



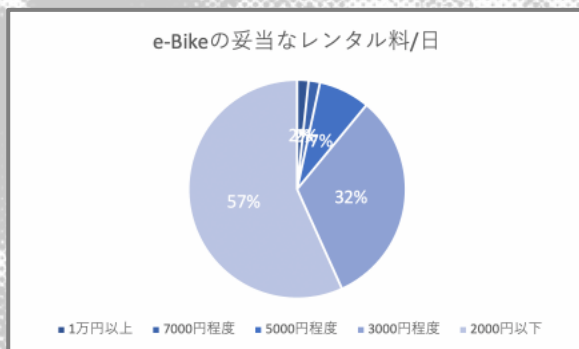
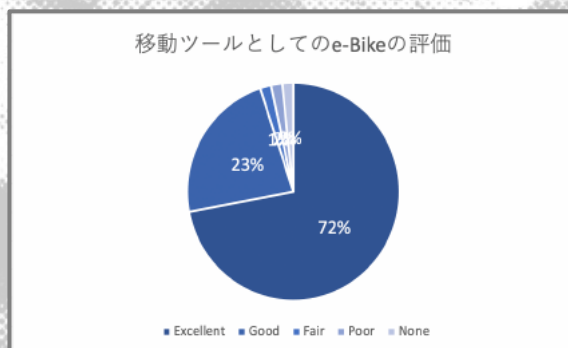
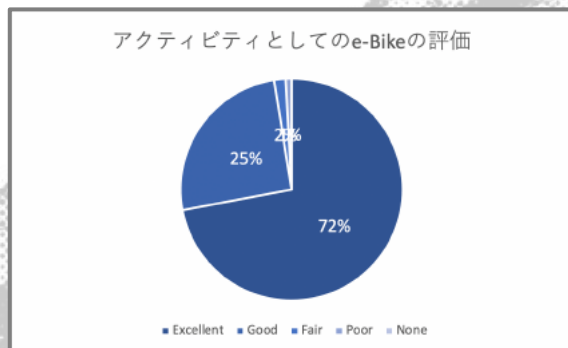
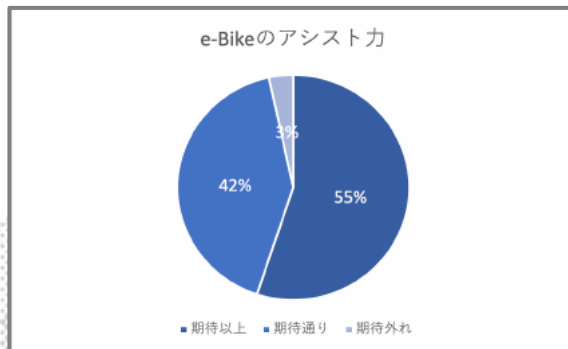
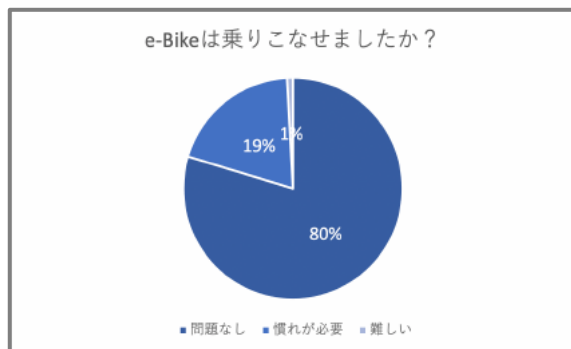
11. 着地型調査

- ・ 観音崎京急ホテルの宿泊者・来訪者を対象に、e-Bike10台の体験レンタルを実施した。
- ・ 実施時期は1/9（土）～3/12（金）で、延べ130名超が利用。
- ・ 利用者にアンケート調査を実施し、e-Bikeの使用感や訪れたスポットの情報を収集した。
- ・ モデルコースの紙地図とパンフレットも配布したが、着地型の場合は観音崎京急ホテルを起点に日帰りでの利用が基本となるため、専用のマップを作成。
- ・ YAMAPアプリ上でも「観音崎サイクリング」マップを実装し、利用者のGPSデータをもとに行動分析を試みた。
- ・ 実施に先立ち、e-Bikeのレンタルマニュアルを作成。まだ取り扱いが一般的でないe-Bikeの仕様やレンタル・メンテナンスのフロー、保険の整備やアプリの操作方法をまとめた。
※本報告書の巻末に添付したマニュアルを参照



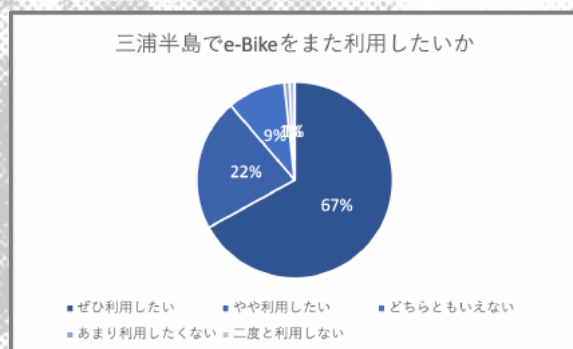
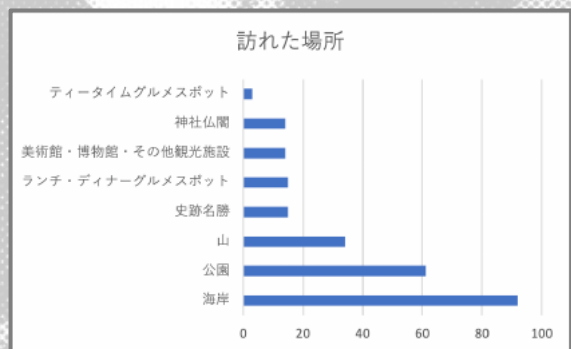
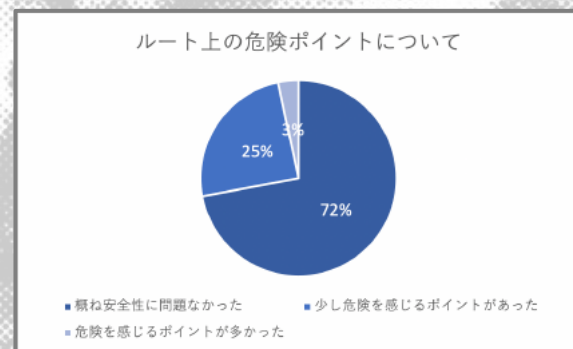
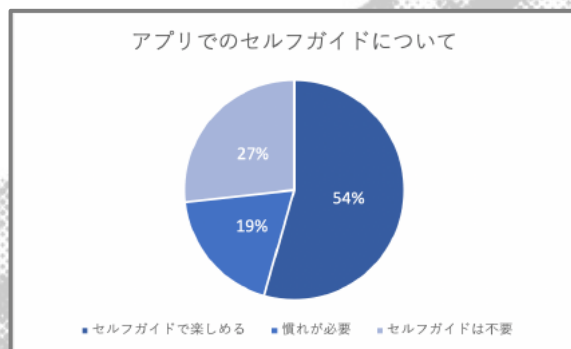
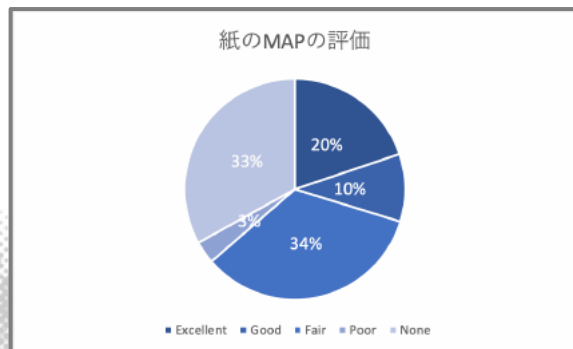
12. 着地型アンケート分析①：e-Bike

- e-Bikeについては初めて、もしくは1-2回乗ったことがある参加者がほとんどであったが、扱いの難易度としては、8割が「問題なし」、2割が「慣れが必要」であり、モニターツアーの調査よりも問題ないとの回答が多かった。n数が100を超えるため、こちらの結果の方が実態に近いと考えられるが、日本の方が欧米より自転車普及率が高い事情は考慮すべきか。
- e-Bikeのアシスト力については、6割が「期待以上」、4割が「期待通り」であった。モニター調査よりもポジティブサプライズの割合はやや少ないが、首都圏では街中での電動アシスト自転車が普及しているため、期待値が高かった可能性がある。
- アクティビティの評価はモニターツアーより高く、5段階評価で5が7割、4以上がほとんどであった。観音崎京急ホテルの周辺には観音崎公園や馬堀海岸があり、道中のアップダウンも大きいため、短時間でもe-Bikeのアクティビティとしての魅力が伝わりやすかったと考えられる。移動ツールとしての評価も概ね、アクティビティの評価に連動するものであった。
- e-Bikeの妥当なレンタル料は1日2000円～3000円が大半という結果となった。体験時間が短いこと、体験価値がコーディネートされていないこと（ガイドによるモデルコースの案内ではなく、ホテル起点の自由行動）が主な要因と考えられる。逆に3000円程度であれば需要があるということなので、きちんと体験価値を訴求することでアップサイドを狙っていきたい。



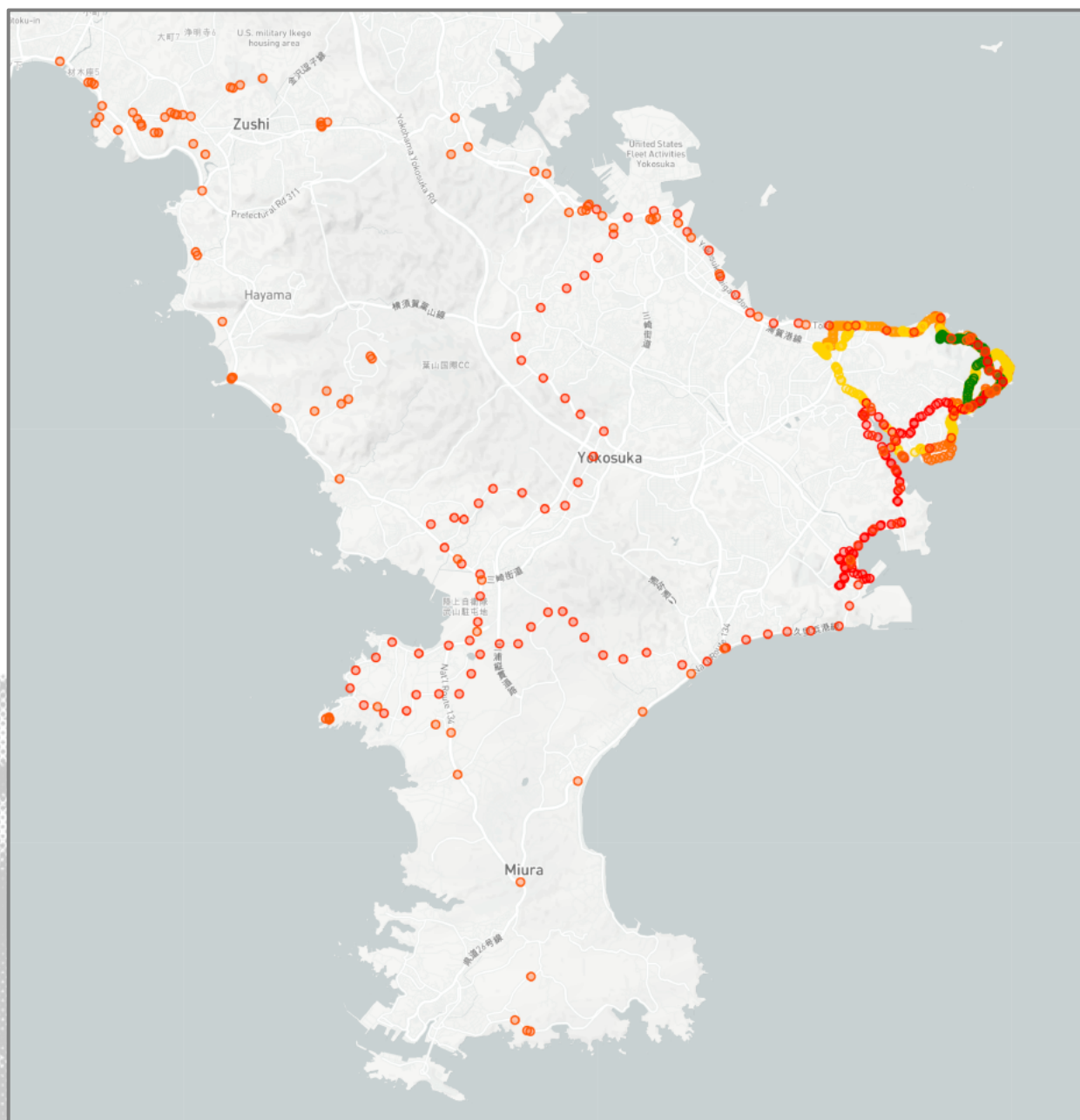
12. 着地型アンケート分析②：ルート等について

- 紙の地図については5段階評価で3が中心ではあるが、ポジティブな評価も多かった。シンプルにスポットとルートの位置関係のみを表示した地図にしたため、全体像が分かりやすかったこと、A4サイズにしたので取り回しが良かったことなどが理由として考えられる。一方で、スポットの情報をもっと載せてほしいという意見もあり、モデルコース用のマップとの中間くらいの情報量が良さそうだ。
- YAMAPのような地図アプリに観光スポットの解説情報を充実させ、アプリだけで旅をする「セルフガイド」のコンセプトについては、半数程度のモニターが肯定的であった。モニターツアーよりも評価が低いのは、事前の使用方法についてのレクチャーが不十分で、機能を使いこなせていないため。実際、アプリの使用を義務付けていたにもかかわらず、ログ記録が正しく取れていない利用者が多く、オペレーションに課題を残す形となった。
- モニターツアーでは指摘が目立った三浦半島の交通リスクについては、あまり危険を感じない利用者が多かった。観音崎周辺は車通りが少ないことや、セルフガイドで自由に回る形式のため、交通量が多い道は避けて走行できたことが考えられる。ガイドをつけないと交通リスクが管理できないという課題はあるものの、あえて利用者の自主性に任せてもリスクは上がらない可能性が示唆された（保険に加入することは大前提）。
- 訪れた場所としては、海岸や公園（観音崎公園）が場所柄多くなっているが、山にも30人以上が訪れていることに注目したい。今回の着地型調査では、Bike & Hikeのコンセプトは利用者にはほぼ伝わっていない。地図の名前と、地図上に山が示されている程度で、ホテルの受付にコンセプトの説明を求めることはオペレーション上、難しかったからだ。また、観音崎ホテルから三浦半島の山のアクセスは決して良くない。最寄りの三浦富士への行程でも、中距離ライドとなる。これらのハードルを乗り越えて1/3の利用者が山へアクセスしたことは、三浦半島でのBike & Hikeのコンセプトの可能性を感じさせる結果と捉えている。



13. 着地型調査のGPS分析

- YAMAPアプリを通して蓄積された、e-Bikeレンタル利用者の行動ログを地図上に視覚化したものが下図である。
- 濃淡で見て分かるように、多くの利用者は観音崎公園から浦賀港、久里浜港あたりの海岸線をを周遊していることが分かる。グルメスポットや美術館も多いため、ショートライドでも十分に楽しめていることが示されている。
- 一方で三浦富士のある長沢方面、大楠山のある秋谷方面、ソレイユの丘や逗子エリア、城ヶ島エリアまで足を伸ばしているログも散見されており、ロングライドの需要も一定程度喚起できている。今回は遠方エリアの魅力を効果的に伝えられてはいないので、情報提供を整えれば三浦半島により長く滞在するきっかけ作りができると考えている。



14. バーチャルツアーによるアンケート調査

- 緊急事態宣言の発令・延長により中止となったモニターツアー調査を補うため、モニター参加予定者や日本旅行の社員を対象にバーチャルツアーによるアンケート調査を実施した。
- モニターツアーで撮影した記録用のムービーと、地図と写真を使った見どころ解説を組み合わせることで、擬似的に今回のBike & Hikeモデルルートを体験してもらい、意見を収集するという取り組み。
- 国籍はアメリカ2人、香港2人、インド2人、中国1人、フランス1人、韓国1人、ベトナム1人、アフリカ1人の計11名で、20代が7割、残りが30-40代という構成。
- モニターツアーと意見が一致しているもの
 - ①ポジティブ
BIKE & HIKEの混合コンセプトは面白い。
通常のツアーでは訪れることができないスポットが多く、魅力的。
混み合った観光地に嫌気が差している訪日客には魅力的に映る可能性。
 - ②ネガティブ（改善点）
サイクリングルートの車道の安全性が心配。
日本の文化を感じられるスポットにもっと時間を使うべき。
ガイディングが重要で、スポット情報の解説がないと魅力を感じない。
 - ③その他
e-Bikeのレンタル料は1日3,000円程度という意見が多い。
地元の人々との交流や、野菜収穫・手芸などの体験が含まれていると良い。
- モニターツアーでは出なかった意見
 - ①ポジティブ
電車やバスだと距離感がつかめないので、サイクリングの旅は魅力的。
 - ②ネガティブ（改善点）
食事に日本食が少ないため、日本食をメインに（ただし三浦房総は創作料理の文化が特徴）。
 - ③その他
食事は推奨リストを用意して自由行動してもらう。
キャンプや釣り、川下りを入れたプラン（三浦には適した川はないので房総で検討）。
訪日客は自分達だけの特別な体験を求めるので、コースをカスタマイズできると良い。



1. Mt. Takatori Trail 2. Jinmuji Temple



15. 課題と今後の展望まとめ

①課題

- ・ 観光スポットの歴史・文化・地理的な背景を掘り下げる情報提供が必要（特に欧米向け）。
- ・ アクティビティ（登山・サイクリング）以外の観光滞在時間が短すぎたため、行程を見直す。
- ・ 全ての山をサイクリングで周るのはハードすぎるため、体力度に合わせたコース選択が必要。
- ・ サイクリングルート of 交通リスクへの配慮が必要。車通りの多い道や狭いトンネルは避ける。
- ・ 仏像や寺院、和食などの日本文化を感じやすいコンテンツが、インバウンド向けには重要。
- ・ コンテンツがアウトドアに偏りすぎているため、悪天候時のバックアッププランは必須。
- ・ 自分たちだけが得られる体験価値を重視するインバウンド観光客にとって、旅程や食事を自分たちで選んだりカスタマイズできる仕組みも検討の余地がある。
- ・ 目的や体験をデザインせず、e-Bikeを単体で貸し出す対価ではe-Bikeへの投資回収に時間を要する。e-Bikeで1日単価を5000円程度上乗せできるような旅程全体のプレミアム設計が必要。
- ・ 紙の地図は大判すぎて取り回しに難あり。小分けにするか、GPS地図アプリへの一本化も選択肢。
- ・ GPS地図アプリによるセルフガイドの仕組みは、アプリの使い方を十分に説明できないと、真価を発揮することが難しい。既存のアプリユーザーへ提供するなら問題ないが、初見者への対応は要検討。

②今後の展望

- ・ 本調査でe-Bikeを活用したBike&Hikeのコンテンツは高い評価を得られたため、インバウンド需要と国内需要の双方を見据えたアドベンチャーツーリズムとしてブラッシュアップする。
- ・ インバウンド向けには日本旅行と連携してツアー商品を造成し、アドベンチャーツーリズムを取り扱う海外の旅行エージェントを対象に需要開拓を検討する。
- ・ 国内向けにはYAMAPと連携して着地型のコンテンツスキームの構築を検討する。当エリアには京浜急行電鉄による「みさきまぐるきっぷ」というグルメを起点とする着地型コンテンツの成功事例があるため、これと組み合わせて「鉄道+e-Bike+アウトドア+グルメ」がセットで楽しめるコンテンツづくりは、目指すべき方向性のひとつ。
- ・ 横須賀市では幕末から開国以降の近代化遺産をつなぐ「ルートミュージアム」構想や、鎌倉時代に活躍した三浦一族ゆかりの土地や寺社に伝わる「鎌倉武士道」のコンテンツ化にも注力しており、これらを周遊する手段としてもe-Bikeサイクリングを活用する。ルートミュージアムや鎌倉武士道のスポットには山も含まれることからBike&Hikeのコンセプトとも親和性が高い。
- ・ より地域の暮らしに根ざした体験コンテンツの開発も検討したい。三浦野菜・南房総落花生の収穫体験やファームステイを通して、旅行者と地域住民が交流できる機会を設けたり、地域の環境保全活動に参加するなど。特に環境保全については、三浦半島の「小網代の森」と南房総の「沖ノ島」という、全国的にも貴重な生態系を有するスポットがあり、地域での保全活動も活発である。このような「学びの体験」はアドベンチャーツーリズムにおいても重要な要素であり、滞在型の観光モデルに寄与すると考えている。
- ・ 観光情報の深掘りが重点課題の一つであるため、今回整備したGPS地図アプリやWEBコンテンツの情報拡充を検討するとともに、地域の自然と文化の魅力を伝えられるインタープリターの役割を担う人材の育成なども視野に入れて、取り組んでいく。

巻末付録

観音崎京急ホテルにおける 着地型E-Bikeレンタル調査事業 業務フローマニュアル

着地型e-Bikeレンタル調査事業のフロー

予約受付・管理

- 原則として観音崎京急ホテルの宿泊者に限定
- 週末にYAMAPが人員を出す前提で外部来訪者への貸出キャンペーンも検討

E-Bike貸出事務

- E-Bikeレンタル確認同意書への記入
- 身分証の確認
- 保険についての説明
- ヘルメットなど備品の貸出

E-Bike貸出時の説明

- マニュアルに沿って電動アシスト・変速・ブレーキなどについて説明
- サドルの高さ調整
- YAMAPアプリのダウンロード説明
- 観音崎周遊コースの紹介

E-Bike返却事務

- E-Bikeおよび備品の返却確認
- YAMAP活動記録の確認
- アンケートの記入依頼

E-Bikeの日常メンテナンス

- マニュアルに沿ってバッテリー充電・ハンドル・ブレーキ・タイヤなどの状態確認
- E-Bikeおよび備品の除菌（感染症対策）

トラブル発生時の対応

- 原則としてYAMAPスタッフが対応
高橋：080-4340-9984
渡辺：080-4754-3041
佐藤：050-5364-3876
- 現場到着まで1時間以上かかる見込みのため、緊急の場合はホテルと連携して対応

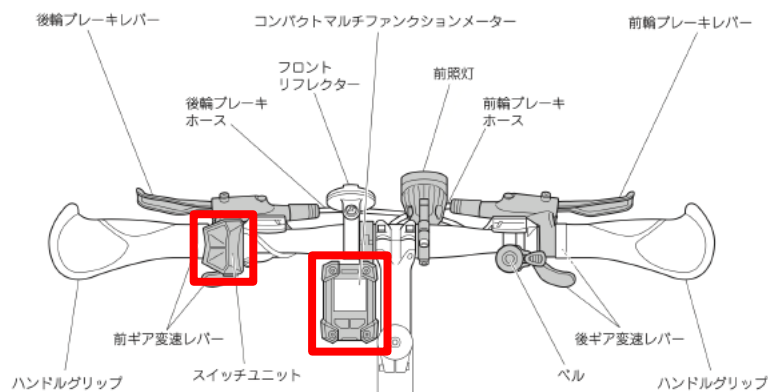
1-1. 使用するe-Bikeの仕様：YPJ-TC



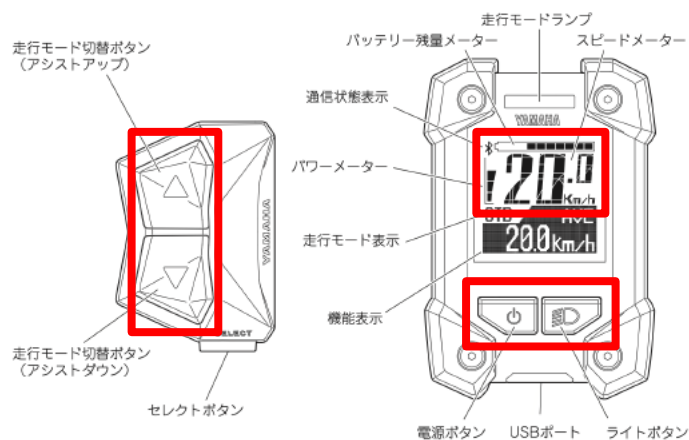
		Mサイズ YPJ-TC	Sサイズ
機種名		PW70TCL	PW70TCM
全長		1,825mm	1,810mm
全幅			590mm
軸間距離		1,080mm	1,065mm
サドル高		920 ~ 1,065mm	890 ~ 995mm
適応身長		170cm 以上	165cm 以上
車両重量		22.6kg	22.3kg
タイヤ	サイズ	700 × 35C 相当	
	空気圧 (前)	515kPa (5.1kgf/cm ² , 5.1bar)	
	空気圧 (後)	515kPa (5.1kgf/cm ² , 5.1bar)	
リム形状		HE	
バルブ型式		仏式	
変速機方式		外装変速 18 速 (前 2 速, 後 9 速)	
駆動方式		チェーン式	
制動装置	前	ディスクブレーキ	
	後	ディスクブレーキ	
充電あたりの走行できる距離		91km ^{*1}	
補助速度範囲		24km/h 未満	
電動機	形式	ブラシレス DC 式	
	定格出力	240W	
補助力制御方式		踏力比例制御方式	
蓄電池	品番・種類	X0N-82110-10・リチウムイオン電池	
	定格電圧	36.0V	
	定格容量	13.2Ah	
	Typ. 容量	13.3Ah	
充電器	品番	X07-8210C-20	
	電源	AC100V (50Hz-60Hz)	
	消費電力	190W	
	充電時間	約 3 時間 30 分 ^{*2}	

1-2. 各部の名前と働き

ハンドル周り



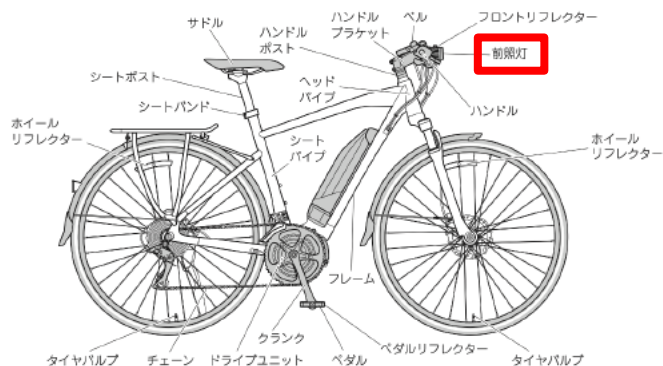
スイッチユニットとコンパクトマルチファンクションメーター



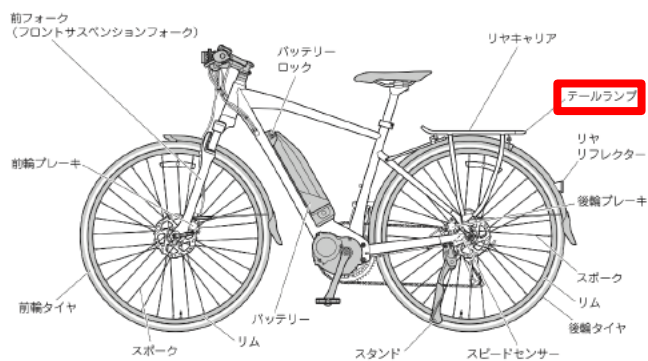
- ・ハンドル中央にあるマルチファンクションメーターの「電源ボタン」を押してシステムを起動します。
- ・メーターには、バッテリー残量やスピードメーター、走行モード（電動アシストの強度）などが表示されます。
- ・車道の一般車からの視認性を高めるため、昼間でも「ライトボタン」を押して前照灯とテールランプを点けて走行してください。
- ・電動アシストの強弱はスイッチユニットで操作します。走行モード切替ボタンの上下ボタンを押すことで、5段階のアシストモードを切り替えます。
- ・車体が5分間操作されないと、自動で電源オフになります。

走行モード	走行モード表示	走行モードランプ
ハイモード	HIGH	青点灯
▲▼ スタンダードモード	STD	青点灯
▲▼ エコモード	ECO	緑点灯
▲▼ プラスエコモード	+ECO	緑点灯
▲▼ アシストオフモード	OFF	消灯

右側面



左側面



1-3. 電動アシストについて

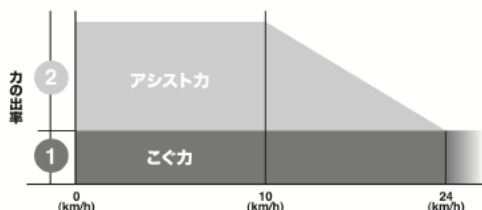
電動補助（パワーアシスト）システムにより最適なアシスト力が得られます

- ペダルを踏む力や走行速度などに応じて、基準の範囲内でアシストをします。
- 発進から時速10kmに達するまでは、ペダルを踏む力“1”に対して最大で“2”の力でアシストすることができます。時速10kmを超えたとしだいにアシスト力を弱めていき、時速24kmでアシストをゼロにします。

要 点

ここでは、アシストの法令基準について説明しています。

YPJのアシスト比を表しているものではありません。



こんなときは電動補助（パワーアシスト）システムが作動しません。

- システムの電源が切れているとき
- 時速24km以上のスピードで走っているとき
- ペダルをこがないとき
- アシストオフモードのとき
- バッテリー残量が無くなったとき
- 自動電源オフ機能が作動したとき
- 走行することができなくなる故障や異常が発生したとき

5種類の「走行モード」を装備しています

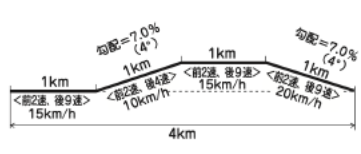
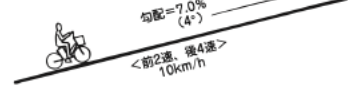
走行状況に合わせて、ハイモード、スタンダードモード、エコモード、プラスエコモード、アシストオフモードの5種類から「走行モード」を選べます。走行モードの切り替えかたは「走行モード切替ボタン」(28ページ)をご参照ください。

ハイモード	急な坂道を登るときなど、より楽に走りたいときに適しています。
スタンダードモード	平坦な道や緩やかな坂道を登るときに適しています。
エコモード	できるだけ長い距離を走りたいときに適しています。
プラスエコモード	
アシストオフモード	普通の自転車として走りたいときに適しています。

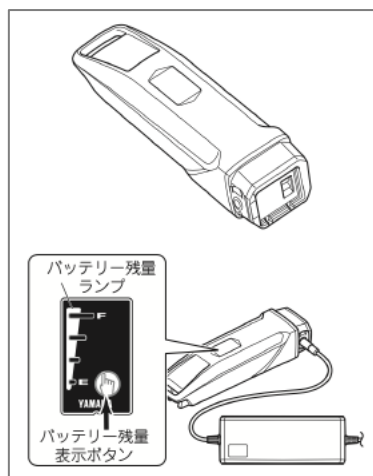
- スタート時は強力にアシストされるため、坂道でも発信することができます。
- 速くなるとアシストが弱まっていき、時速24キロでアシストはゼロになります。
- 自分の力でペダルを踏むほどアシストが弱くなるため、速く走ろうとするとアシスト効果が得られにくくなります。
- 登り坂で力を抜いても、アシストにより時速15キロ程度は楽に出せます。アシストに身を任せるようにペダルを踏むことが、疲れずに走るためのコツです。
- 日帰りの一般的な観光周遊であれば、ハイモードのみで走行してもバッテリーは十分持続します。
- 万が一、バッテリー切れでアシストが切れても、少し重い自転車（ママチャリ程度）として自走することは可能です。

充電あたりの走行できる距離

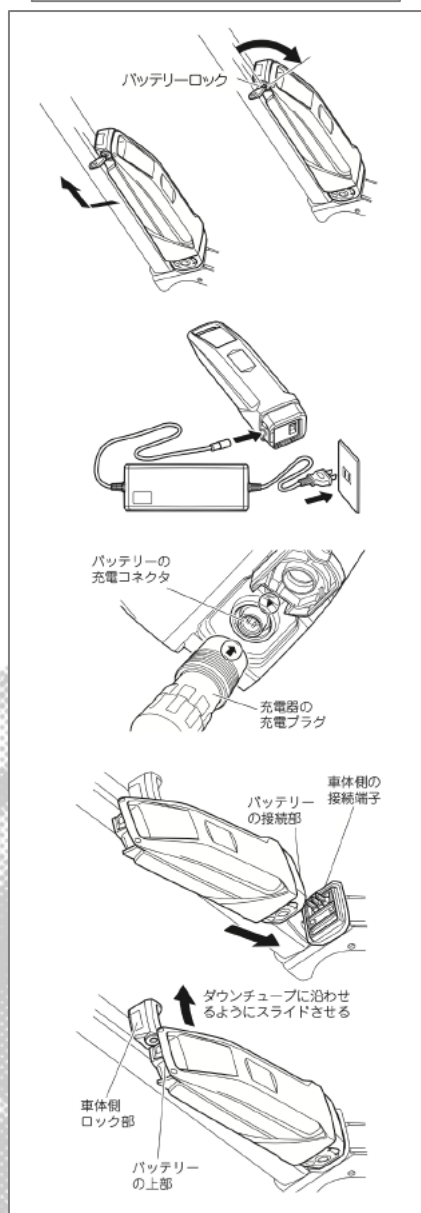
1回の充電で走行できる距離の目安は、以下の表のようになります。なお、走行できる距離は走行モードによっても異なります。

走りかた	走行距離				
	40km	80km	120km	160km	200km
標準パターン *1 	ハイモード	91km			
	スタンダードモード	112km			
	エコモード	153km			
	プラスエコモード	237km			
	アシストオフモード				
4度登坂連続パターン *2 	ハイモード	31km			
	スタンダードモード	38km			
	エコモード	52km			
	プラスエコモード	80km			
	アシストオフモード				

1-4. バッテリーの充電



- バッテリーを残量ランプ1灯点滅まで使用したとき満充電までの充電時間は約3時間30分です。
- YPJはリチウムイオンバッテリーを装備しています。
- バッテリーの温度が大きく上がったり下がったりすると、一充電あたりの走行距離が短くなったりアシスト力が低下することがありますが、故障ではありません。
- 使用していなくても、僅かずつ放電します。
- バッテリー容量は、充放電を繰り返し（700-900サイクル）行くと、新品のときの約半分にまで低下します。充電しても走行距離やアシスト力が回復しない場合はバッテリーの交換時期です。販売店にご相談ください。



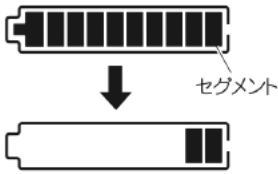
• バッテリーの充電方法

- ①電源を切り、キーをバッテリーロックに差し込んで時計方向に回してロックを開錠します。
- ②バッテリー上部を左側へスライドさせ、上側に引き上げて取り外します。
- ③電源プラグを家庭用コンセント（AC100V）に接続します。
- ④バッテリーの充電口のキャップを外し、充電コネクタに充電器の充電プラグを接続します（コネクタの▼マークとプラグの↑マークが合うように）。
- ⑤充電完了後、バッテリーの上部をカチッと音がするまで車体側にスライドさせて固定します。

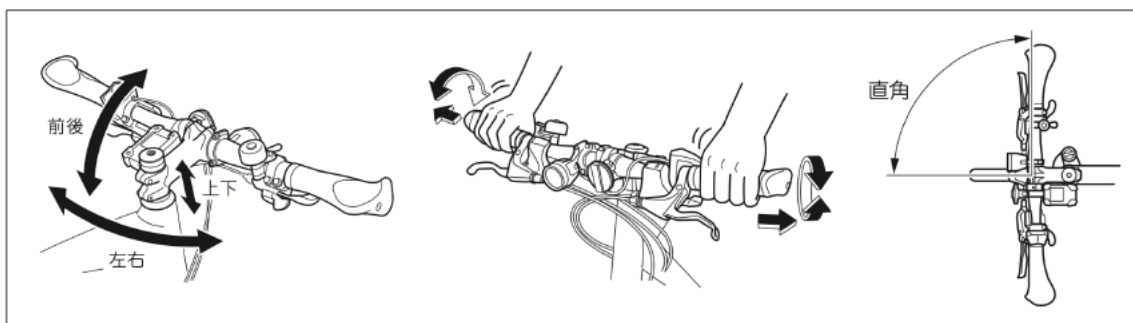
充電の状態	充電ランプの表示	バッテリー残量ランプの表示	状態
充電中	BATTERY CHARGE YAMAHA 点灯	 (例：バッテリー残量が50～74%の場合)	正常に充電しているときは、充電器の充電ランプは点灯します。バッテリーのバッテリー残量ランプは現在の残量分の一番上側のランプが点滅します。充電が進むと、バッテリーのバッテリー残量ランプが1灯ずつ増えていきます。それに伴い点滅するランプも上側に移動します。
充電終了	BATTERY CHARGE YAMAHA 消灯	 消灯	充電が完了すると、充電器の充電ランプとバッテリーのバッテリー残量ランプは消灯します。

2-1. 乗車前の確認事項

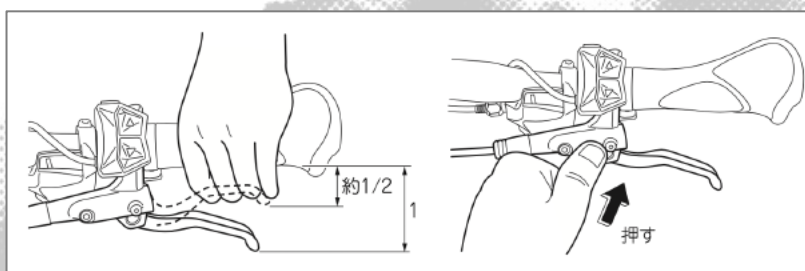
①バッテリーの残量を確認

バッテリー残量メーターの表示	バッテリー残量の目安	適応状態
	100 ~ 11%	バッテリー残量が100%から11%の間は、バッテリー残量が10%減少するごとに、バッテリー残量メーターのセグメントが1個ずつ減少していきます。

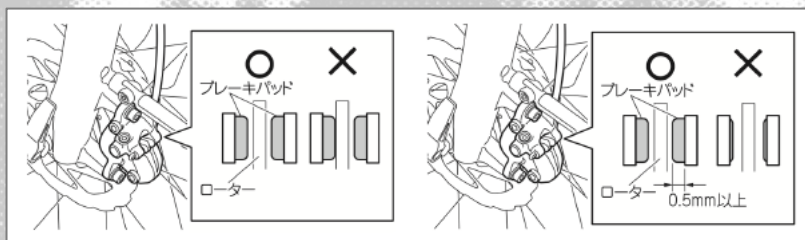
②ハンドルのがたつき、グリップの抜けや回転がないか、前輪に対して直角かを確認



③ブレーキレバー・ブレーキパッドの点検



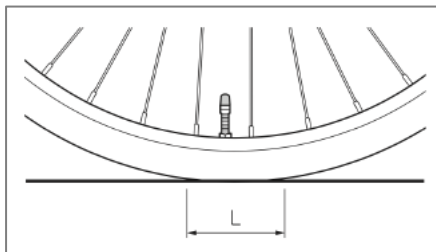
- ・ レバーとハンドルの隙間が約1/2の距離にあるか
- ・ 前後のブレーキレバーの取り付け部を指で押し、ずれたり動いたりしないか



- ・ ブレーキパッドがローターに当たっていないか
- ・ パッドが残り0.5mm以上あるか
- ・ ローターの厚さが1.5mm以上あるか

2-1. 乗車前の確認事項

④タイヤの空気圧の点検：体重60kgで接地面の長さ（L） 8-10cm



最大空気圧

前輪：515kPa (5.1kgf/cm², 5.1bar)

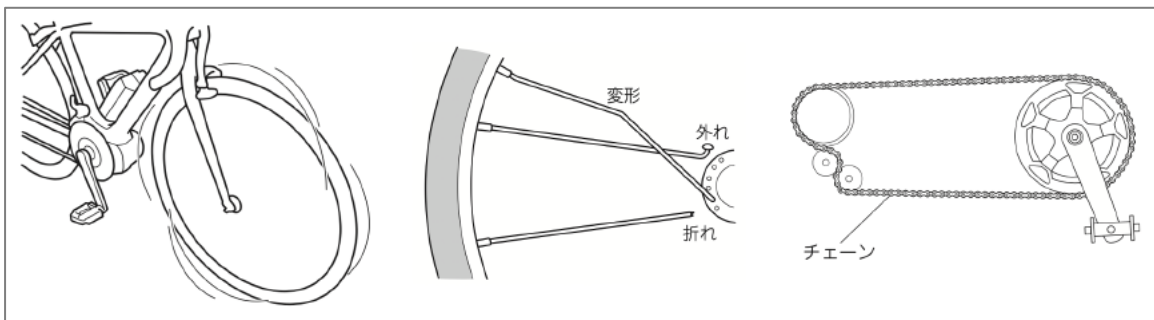
後輪：515kPa (5.1kgf/cm², 5.1bar)

接地面の長さ（L）

前輪：80 ～ 85mm

後輪：95 ～ 100mm

⑤タイヤの歪み・スポークの点検・チェーンの動作や小石など異物が挟まっていないか点検



⑥その他の確認事項

- ベルが鳴るか
- タイヤの摩耗や異物・釘など刺さっていないか
- ペダルやリフレクターに汚れ・破損がないか
- バッテリーは確実に固定されているか
- フロントサスペンションはスムーズに作動するか
- 変速機はスムーズに変速するか

2-2. サドルの高さの調整

お乗りになる前の調整

正しい運転姿勢になるようにサドルの高さ、ハンドルの高さおよびブレーキレバーの位置を調整してください。

サドルの高さ調整、ブレーキレバーの位置調整、およびハンドルの高さ調整は工具が必要です。調整が必要な場合は販売店にご相談ください。

正しい運転姿勢

サドルに腰掛け、両手をハンドルに軽くかけた状態で、以下のようにします。

- 両ひじは軽く曲がる
- ひざがハンドルに当たらない
- 両手の指がブレーキレバーを余裕をもって握れる



- サドルの高さは、足をペダルに乗せた状態で判断します。ペダルを一番低い位置にして、靴底が水平になるように足の「つま先側」を乗せた時、「軽く膝が曲がるくらい」が適切です。
- 上記が分かりにくい場合、ペダルを一番低い位置にして、靴底が水平になるように足の「かかと側」を乗せた時、「膝がピンと伸びるくらい」が適切です。
- 上記で適切な高さに調整した場合、サドルにまたがった状態で「つま先立ちで地面にギリギリ立てる」くらいになります（個人差はあります）。
- サドルの高さ調整には付属の工具が必要となりますのでご注意ください。工具なしでワンタッチで調節できる一般的な自転車とは仕様が異なります。
- サドルを一番下まで下げた状態で固定しないでください。部品が破損する恐れがあるため、少し上で固定するようにお願いします。
- サドルの前後の位置調整はしないでください。必要な場合は専門店への持ち込みが必要となります。

サドルの高さ調整のしかた

⚠ 警告

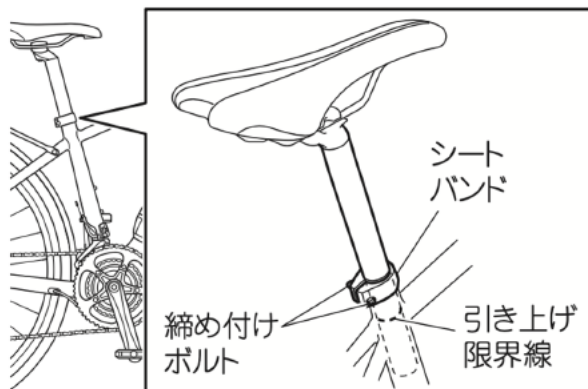
- ご自身での調整作業に自信がない方は、販売店にご依頼ください。
- 安全な場所で、車両を停車させて行ってください。
- 引き上げ限界線が見えるまで引き上げないでください。
- 調整後はがたつきやずれがないかご確認ください。

注意

サドルを低くするときは、シートポストをいっぱいまで差し込んだ位置で固定しないでください。シートポストの下端がシートパイプ内の部品と接触して、シートポストやシートパイプ内の部品が損傷するおそれがあります。シートポストをいっぱいまで差し込んだ場合は、シートポストを少し引き上げてから固定してください。

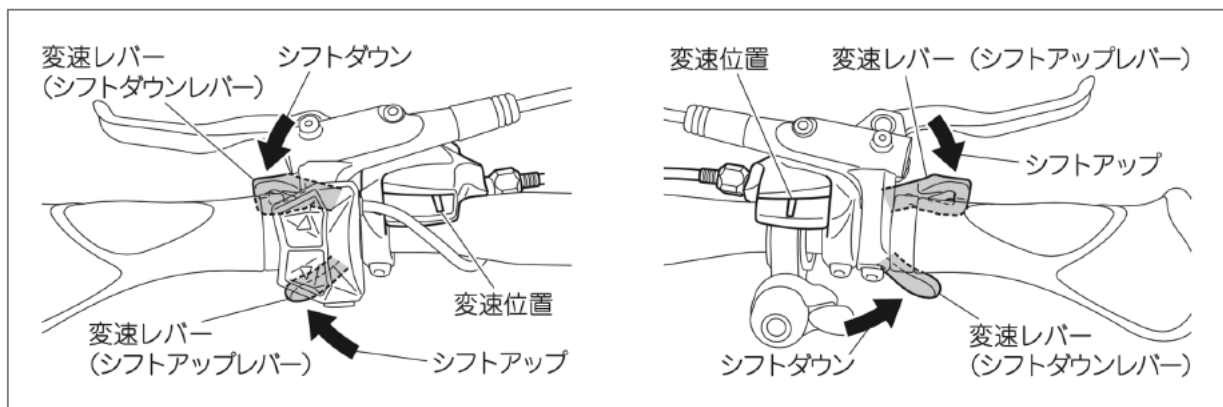
要 点

サドルの高さ調整には工具が必要です。

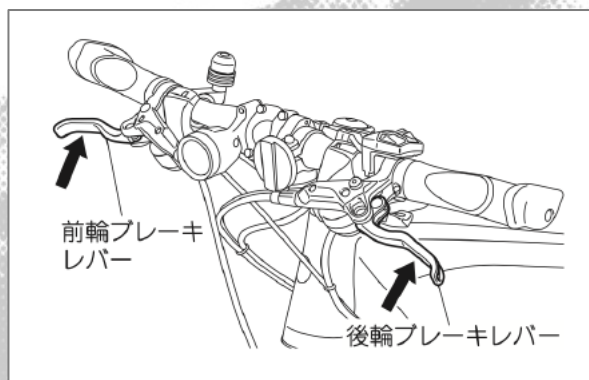


2-3. 変速レバーとブレーキ

- YPJはハンドルの左右にそれぞれシフトアップ用、シフトダウン用の2本ずつの変速レバーを装備しています。変速レバーを操作するときは、ペダルを踏む力を抜いて空転気味に軽く回しながら、1速ずつ操作してください。



- 左側の各レバーを操作すると、前ギアの変則操作を行えます。
- シフトアップレバーを押すと、1速から2速へとシフトアップします。
- シフトダウンレバーを引くと、2速から1速へシフトダウンします。
- 右側の各レバーを操作すると、後ギアの変則操作を行えます。
- シフトアップレバーを引くごとに、1速から9速までシフトアップします。
- シフトダウンレバーを押すごとに、9速から1速までシフトダウンします。



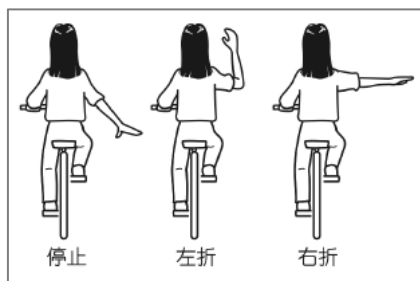
- ブレーキはディスクブレーキを採用しているため、通常の自転車より効き具合が強めです。急にレバー引くと転倒の原因になりますので、慣れるまでは慎重な操作が必要です。
- ブレーキをかけるときは、必ず前後ブレーキを併用し、後輪ブレーキを先に掛けてから前輪ブレーキをかけます。つまり左のレバーから引きます。
- 坂道では前後どちらのブレーキもかけてください。長い下り坂を前後どちらかのブレーキだけを使って走行すると、ブレーキが加熱して効かなくなる恐れがあります。

3. 交通ルールについて

①車道の左側を走行してください

②信号機のある交差点では2段階右折をしてください

③信号機のない交差点では、曲がるとき・止まるときに30mくらい手前から合図をしてください



④以下の標識や表示があるところでは歩道を通行できますが、歩道は歩行者優先、通行部分が指定されていない場合は中央から車道寄り部分を徐行してください



⑤自転車横断帯があるところでは、横断帯を通行しなければいけません



⑥「止まれ」の標識の手前で一旦停車してください



4. 付属レンタル品について

- E-Bikeを楽しむために必要な備品5点セットを付属品としてレンタルします。

- ①ヘルメット
- ②グローブ（防寒タイプ）
- ③スマートフォンホルダー
- ④ワイヤーロック（チェーンキー）
- ⑤裾止め用アンクルバンド



6. e-Bikeレンタル確認同意書

- e-Bikeのレンタルにおいて、事前に確認が必要な事項についての同意書への署名をお願いします。
- 代表者ではなく、利用者全員に記載をお願いしてください。

e-Bike レンタル確認同意書

横須賀市 御中 （代理人：株式会社ヤママップ 窓口：観音崎京急ホテル）

私は、横須賀市から、電動アシスト自転車进行り受けて利用するに当たり下記の事項に同意いたします。

記

1. 家族・親族・保護者（参加者が未成年の場合）は、自転車の乗車に反対されておらず、使用（運転）に問題がないこと。
2. 利用前にレンタル自転車の操作説明をしっかりと受け、理解に努めること。
3. 利用前に車両の点検を行なうこと。
4. 安全に利用するために、ヘルメットを着用すること。
5. 酒気を帯びてレンタル自転車を利用しないこと。また、麻薬・覚せい剤・シンナーなどによる中毒症状を呈した状態でレンタル自転車を利用しないこと。
6. 道路交通法その他法令に違反する使用（運転）をしないこと。
7. 交通マナーを守り、スピードの出しすぎや、無理な走行は行わないこと。
8. 万一、体調不良または車両に不具合を感じたときは、使用を中止し、横須賀市・株式会社ヤママップ・観音崎京急ホテルに申し出ること。
9. 万一、傷病、事故、所持品の紛失、レンタル自転車の破損・盗難等が発生した場合、自己の責任において対処すること。ただし、自転車本体に付帯する盗難保険等により受けられる補償については、その限りではない。また、使用中にかかる駐輪場代、駐輪が禁止される区域（権原のない私有地も含む）に駐輪したことによる返還に要する費用、レンタル自転車が破損した場合の修理費用も自己の責任で負担すること。
10. 使用（運転）中に傷病が発生した場合に急手当を受けたときでも、その方法、経過等について、横須賀市・株式会社ヤママップ・観音崎京急ホテルに対して責任追及しないこと。
11. 横須賀市・株式会社ヤママップ・観音崎京急ホテルが危険であると判断した場合、指示により途中で利用を中止すること。
12. レンタル自転車は所定の目的以外では利用しないこと。
13. 終了後、速やかにレンタル自転車を返却すること。
14. 地震・風水害・事件・事故・荒天（降雪、降雨、強風、雷など）・病疫・その他の理由で、使用（運転）を中止・中断・縮小変更されることがあること。また横須賀市・株式会社ヤママップ・観音崎京急ホテルに対してその責任の追及及び賠償請求をしないこと。
15. 使用（運転）中に負傷または死亡事故が発生した場合、株式会社ヤママップが加入する賠償責任保険により補償を受け、その余について横須賀市・株式会社ヤママップ・観音崎京急ホテルまたはその関係者に対し一切の請求をしないこと。
16. 運転及び使用中における個人の所持品の管理は、自己の責任で行うこと。
17. 使用（運転）時の映像・写真・記事・記録など（氏名・年齢・性別・記録・肖像などの個人情報）が新聞・テレビ・雑誌・インターネット・パンフレットなどに報道・掲載・利用されることがあること。また、その掲載権・使用权は横須賀市に属すること。さらに同素材の二次利用（イベント主催者・管轄競技団体が製作するウェブサイト・出版物（販売用を含む）・印刷物）に使用されることがあること。
18. 万一、レンタル自転車の使用時に、事故やトラブルが発生しても、横須賀市・株式会社ヤママップ・観音崎京急ホテルに責任がある場合を除き、自己の責任において対処し、横須賀市・株式会社ヤママップ・観音崎京急ホテルに責任追及を行わないこと。
19. その他、横須賀市・株式会社ヤママップ・観音崎京急ホテルが定めたすべての規約、規則および横須賀市・株式会社ヤママップ・観音崎京急ホテルの指示に従い、安全に利用すること。

以上

2021 年 _____ 月 _____ 日


住所

氏名


緊急連絡先（電話番号）

7. YAMAPアプリの案内


- YAMAPアプリによる行動記録が無料レンタルの利用条件となります。
- 案内用のラミネート板（下記）に沿ってYAMAPアプリのダウンロードを案内してください。



YAMAPアプリをダウンロードして e-Bikeサイクリングを楽しもう！












【ダウンロードの手順（無料）】




Google Play からダウンロード



App Store からダウンロード




「はじめの方」をタップ




メール/SNSで会員登録



LINEで登録がオススメ



ニックネームを入力



プレミアム案内は左上の「か」を 画面下部までスクロールして スキップ




「のぼる」タブをタップ




居住地域を入力




上部の検索窓で 「かんのんざき」と入力 関連ワードの 「観音崎サイクリング」をタップ




観音崎サイクリングの 地図にピンが立つ 「地図」ボタンをタップ



一番上の「無料地図」を ダウンロード ボタンをタップ



ダウンロードが完了すると 地図が表示 左下の「設定」をタップ



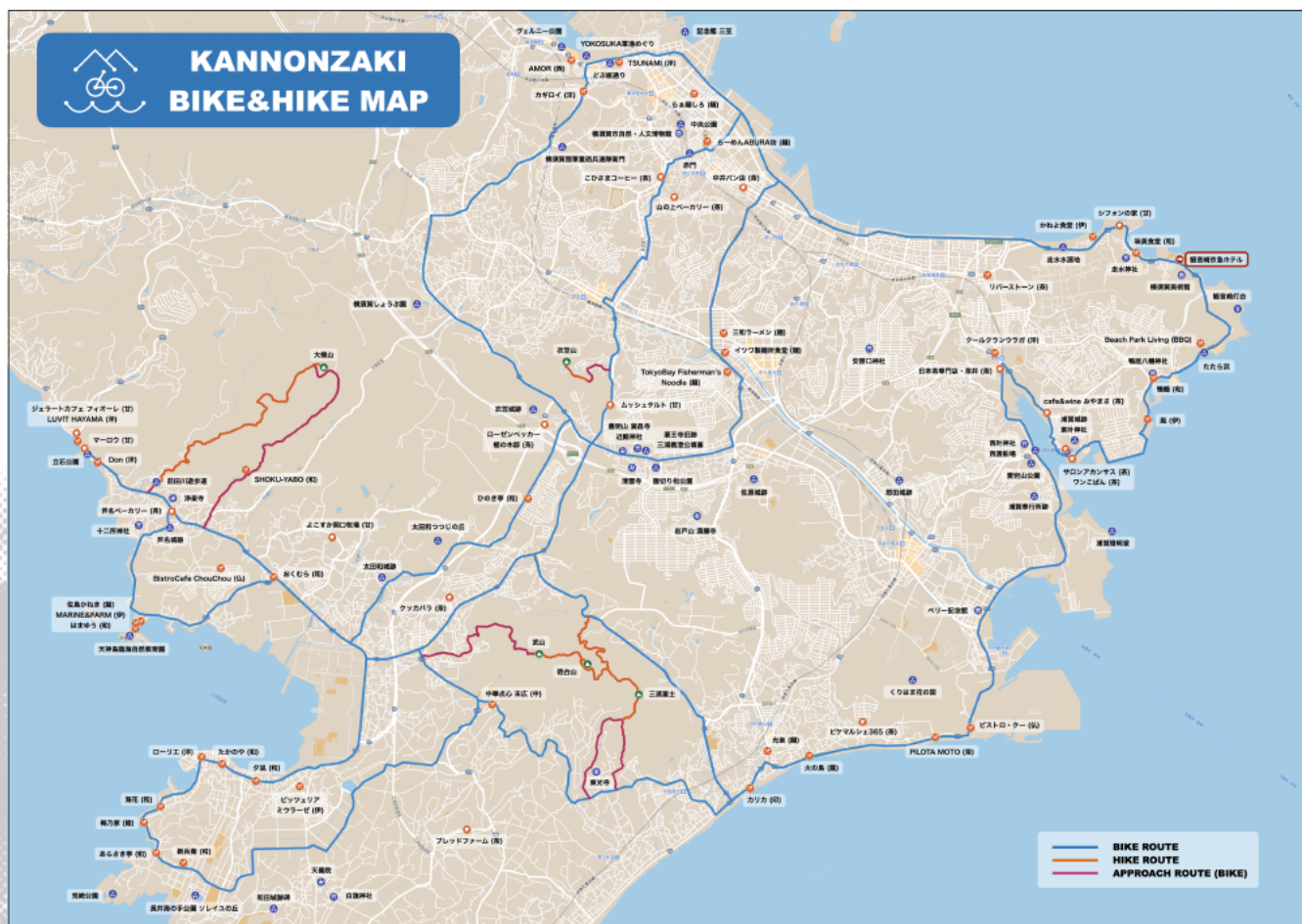
「活動タイプ」を 「サイクリング」に変更 「観音崎サイクリング」の ルート表示をオン



「活動を開始」ボタンを タップしてスタート！

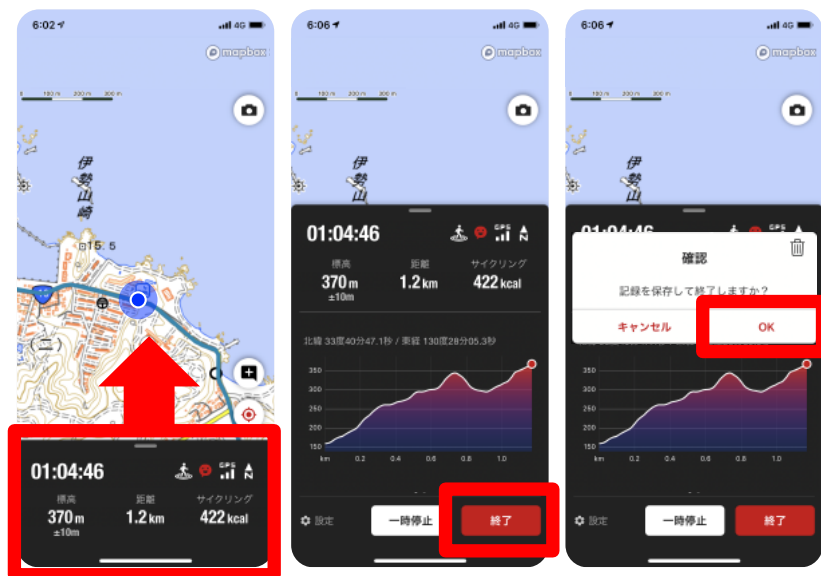
8. 観音崎周遊コースの案内

- ・ 観音崎京急ホテルを起点とする周遊コース「KANNONZAKI BIKE&HIKE MAP」のご案内をお願いします。
- ・ 観音崎から浦賀周辺までの往復、もしくは横須賀市街地までの往復は、ランチやティータイムの休憩込みで2時間くらいが目安です。
- ・ 三浦半島の西側へ遠征する場合は片道2時間くらいが目安です。
- ・ 大楠山や武山・三浦富士などへアプローチする場合は、BIKEによるAPPROACH ROUTEを使う前提でプラス1時間くらいが目安です。
- ・ 一番大回りのルートをHIGHモードでフル走行しても、バッテリー切れにはなりません。
- ・ 前日に雨が降った場合や当日の天候が怪しい場合には、大楠山へのAPPROACHは足場が悪いため、控えるようにお伝えください。
- ・ 観光スポットは主に「鎌倉武士道」と「横須賀ルートミュージアム」にちなんています。鎌倉武士道は、鎌倉幕府の筆頭御家人であった三浦義澄とその一族ゆかりの史跡。ルートミュージアムは、江戸末期から明治にかけての開国期の歴史遺産の数々です。詳細はインターネットでの情報検索をご案内ください。
- ・ 全体像を紙のMAPで掴み、詳細はYAMAPアプリの地図で確認するようお願いください。



9. 返却時の案内

- e-Bike返却の際には、YAMAPアプリの記録終了・保存をご案内ください。
- 備品5点セットと本体につき、破損・紛失やトラブルがないかを確認してください。
- 調査アンケートをご案内ください。アンケートは必須です。代表者だけでなく、参加者全員の回答をお願いします。特にYAMAP IDの記入は必ずご確認ください。
- YAMAP IDは、YAMAPアプリの下タブ右にある「マイページ」を開くと、ニックネームの下に表示されています。
- 返却後されたe-Bikeのバッテリー充電を忘れずをお願いします。



活動画面の下部を上へスワイプします

「終了」ボタンをタップします

記録の保存について「OK」をタップします

観音崎京急ホテル e-Bike体験レンタル アンケート

この度はe-Bikeの体験レンタルをご利用いただき、ありがとうございます。
今後の参考にさせていただきますので、下記のアンケートにご協力をお願いします。

1. お名前について

お名前	居住地	性別	男	女	他
年齢	10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上				
YAMAP ID	※YAMAPアプリ内の下タブ右「マイページ」にて、ニックネームの下に表示				

2. 興味関心があることを教えてください（複数回答）

<input type="checkbox"/> 伝統文化や歴史的遺構・建築物を楽しむ	<input type="checkbox"/> 食事を楽しむ
<input type="checkbox"/> 大都市の刺激、エンターテインメントを楽しむ	<input type="checkbox"/> 豊かな自然を楽しむ
<input type="checkbox"/> アートやデザインを楽しむ	<input type="checkbox"/> リゾートや宿泊施設での滞在を楽しむ
<input type="checkbox"/> アウトドア・アクティビティを楽しむ	<input type="checkbox"/> スポーツを楽しむ

3. 三浦半島・横須賀エリアへの訪問は何回ですか？

1回目	2-3回目	4-5回目	6回以上	横須賀市民
-----	-------	-------	------	-------

4. これまでe-Bikeに乗ったことはありますか？

1回目	2-3回目	4-5回目	6回以上	e-Bikeを所有している
-----	-------	-------	------	---------------

5. e-Bikeは楽しめましたか？

問題なく楽しめた	操作や乗り方に慣れるのに少し時間がかかった	うまく楽しめなかった
----------	-----------------------	------------

6. e-Bikeの性能について印象を教えてください

想像以上にアシスト力が強かった	期待通りのアシスト力だった	期待したほどのアシスト力はなかった
-----------------	---------------	-------------------

7. アクティビティとしてe-Bikeの評価を教えてください

とても魅力がある	魅力がある	普通	あまり魅力がない	全く魅力がない
----------	-------	----	----------	---------

8. 移動ツールとしてe-Bikeの評価を教えてください

とても便利	やや便利	普通	やや不便	不便である
-------	------	----	------	-------

9. e-Bikeの1日のレンタル料として、いくらが妥当ですか？

1万円以上	7000円程度	5000円程度	3000円程度	2000円以下
-------	---------	---------	---------	---------

10. e-Bikeを体験する際のタイミングで、上記の受取・返却で自分がレンタルすると思いませんか？

レンタルすると思う	もう少し安くはないと思う	借りたがわずらわしいと思う
-----------	--------------	---------------

11. サイクリングルートで危険を感じたポイントはあるか？ 危険を感じた場合はコメントもお願いします

概ね安全性に問題なかった	少し危険を感じるポイントがあった	危険を感じるポイントが多かった
--------------	------------------	-----------------

コメント

12. KANNOZAKI BIKE&BIKE MAP（地図のマップ）は使いがてですか？ コメントをお願いします

とても便利だった	便利だった	普通	ちょっと使いがてにかった	不便である	使っていない
----------	-------	----	--------------	-------	--------

コメント

13. YAMAPアプリは使いがてですか？ コメントをお願いします

とても便利だった	便利だった	普通	ちょっと使いがてにかった	不便である	使っていない
----------	-------	----	--------------	-------	--------

コメント

14. アプリの地図を見ながらサイクリングすることについて、近い意見のものを教えてください

ルートや現在地が一目で分かり便利	便利だが不慣れで使いこなせなかった	アプリの地図は不審
------------------	-------------------	-----------

15. アプリの地図のルートとスポット情報を見ながら、セルフガイドで観光することについて意見を教えてください

セルフガイドで楽しめると思う	セルフガイドで楽しめたいけれどルートが長い	セルフガイドは不要
----------------	-----------------------	-----------

16. e-Bikeで訪れた場所を教えてください（複数回答）

<input type="checkbox"/> 山	<input type="checkbox"/> 公園
<input type="checkbox"/> 海岸	<input type="checkbox"/> 神社仏閣
<input type="checkbox"/> 史跡名勝	<input type="checkbox"/> 美術館・博物館・その他観光施設
<input type="checkbox"/> ランチ・デザート・グルメスポット	<input type="checkbox"/> ティータイム・グルメスポット

17. 印象に残った場所、魅力を感じたスポットについてコメントをお願いします

18. 三浦半島・横須賀エリアでまたe-Bikeレンタルを利用したいですか？

絶対利用したい	やや利用したい	どちらでもない	あまり利用したくない	二度と利用しない
---------	---------	---------	------------	----------

19. 今回の体験を家族や友人・友人に勧めたいですか？

絶対勧めたい	やや勧めたい	どちらでもない	勧められたい	絶対に勧めない
--------	--------	---------	--------	---------

20. その他、何かコメントがあれば自由にお願いします

アンケートは以上です。
いただいた回答は、今後の観光企画の参考にさせていただきます。それ以外の目的には使用いたしません。
ご協力いただき誠にありがとうございます。

文責：株式会社ヤマブ

【YAMAP IDの確認】



◀ 調査アンケート（WEB版）のQRコード